

(別紙様式1-2)

道徳教育地域支援委託事業実施計画書（令和6年度）

1 学校の概要

- (1) 学校名 丸亀市立城北小学校
(2) 所在地 香川県丸亀市瓦町95番地
(3) 学年別児童生徒数及び学級数、教員数 (令和6年4月1日現在)

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	特別支援学級	児童数計	教員
1学級 22名	2学級 35名	1学級 29名	1学級 32名	2学級 37名	1学級 30名	5学級 23名	208名	23名

2 研究主題等

- (1) 研究主題 人を大切にし 自分も大切にできる児童の育成
～ 自己を見つめ よりよく生きようとする児童を育む道徳教育 ～

(2) 研究主題設定の理由

昨年度7月に実施した道徳アンケートでは、道徳の勉強が将来の役に立つと答える児童の割合は高い(94%)が、実際に勉強したことを生活で使えている実感のある児童の割合はそれほど高くない(76%)という実態が明らかになった。また、学習に対する関心・意欲・態度、自分の思いや考えを伝え合う力、相手の思いや話の要点を聴き取る力についても、個人差が大きく、授業の中で話し合いを通じてお互いの考えを認め合うことはまだ十分とはいえない。学力やかかわる力に差がある集団のなかで児童一人ひとりが自分のことを大切に思い、友だちのことも同じように大切に思いながら学ぶために、全員参加の視点をもった授業改善を行い、実生活と授業との往還を感じられるような道徳教育のカリキュラムを実践する必要がある。

以上のように、人を大切にし、自分も大切に、互いのよさを認め合える児童を育成するために、道徳科の授業改善や、児童が道徳性を発揮し自己の成長を見つめられるような道徳教育に取り組みたいと考え、本主題を設定した。

(3) 研究内容及び方法

- ① 「全員参加の道徳授業」をめざすための手だて
- ② 実生活とつないで具体的に自己を振り返る場の工夫
- ③ 学校行事、児童会活動等との関連をもたせるカリキュラム・マネジメント
- ④ 地域・家庭との連携

3 成果の評価計画

- 各種アンケート（校内道徳アンケート、丸亀市アンケート等）の結果分析
- ワークシートの記述内容の分析
- 香小研道徳部会研究発表会の参加者からの感想や意見の分析
- 児童の道徳的実践の記録と道徳科の授業との関連性の分析

4 研究成果の普及方法

- 令和6年度香小研道徳部会研究発表会での授業公開及び研究冊子の配布